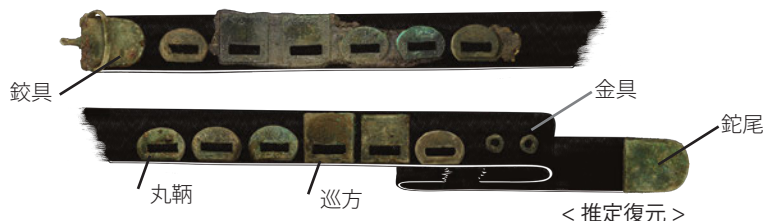




古代役人のベルト「腰帯」を知る！



発見時の腰帯の一部

注目の副葬品、「革帯」。

鹿妻地区の丘陵の急斜面に位置する「矢本横穴墓群」。200基を超える古代の墓が1.5kmにわたって分布されています。赤井官衙遺跡に関わる一族の墓であったと考えられています。

今回紹介する腰帯は、平成26年度の調査で1つの墓の中から6体分の人骨とともに出土したものです。刀や馬具、鉄鏃などと一緒に副葬されていました。

見つかった腰帯は、奈良・平安時代の役人が正装する時に腰につける革製のベルトです。帯(革帯)はちぎれて、かるうじて一部が残っている程度ですが、ベルトを留めるバックル(鉸具)や帯の飾り、ベルト穴の金具も揃って一緒に見つかっています。役人だった人が正装姿で

埋葬されたのでしょう。装飾具はすべて銅製で、方形の巡方が4個、半円形の丸鞆が8個、帯の先端に取り付け鉦尾も見つかりました。復元すると上の写真のようになります。このように革付きの状態、しかも腰帯の全容が推定できるようなものは、発掘で出土した資料の中にはなく、現存するものとしては奈良の正倉院宝物に例があるだけです。

帯に装着された鉸具や装飾具は、古代の役所や周辺の集落からも出土することがありますが、数は少なく単体でしか見つかりません。陸奥国府多賀城とその周辺は、腰帯具(鉸具・装飾具)の出土数が多いことで知られていますが、全体でも銅製のものが13点、石製のものが25

点出土しているに過ぎません。

矢本横穴墓からみつかった腰帯が、いかに貴重な資料であるか、知っていただけだと思います。ただし、千三百年以上も前のものです。墓の中で密封された状態で保たれてきたものが、発掘によって空気に晒され、資料の保存環境が大きく変わってしまったようです。時間の経過とともに、劣化が進んでしまいました。現在は展示もできない状況です。

この貴重な資料を後世に残すとともに、展示室で多くの方々に見ていただけるよう、このたび保存処理を行うことになりました。併せて、詳しい分析を行います。肉眼では確認できない、新たな発見があるかもしれません。



今年度初、学校の受け入れはじまる！

5月下旬。市内学校の授業再開とともに、5月28日には鳴瀬桜華小学校6年生が、29日には矢本西小学校4年生が「ふるさと教室」の一環で来館。縄文村にも久々に子どもたちの元気な声が響きました。

コロナ対策のため、屋外で距離を保っての活動となりましたが、学校が再開したばかりとあって生き生きとした表情が印象的でした。

土日体験・一般向けの縄文体験については現在見合わせており、徐々に再開していく予定です。



貝塚に興味深く観察。

写真：矢本西小4年生
ふるさと教室の様子

参加者募集「縄文教室」開催のお知らせ

土器作り・野焼き・縄文料理の3回コースを通して、縄文人のくらしを楽しく学びます。今年の夏は縄文人になってみませんか？

- 開催日
- 7/18 ⑤ 19⑥ …縄文土器作り
 - 8/16 ⑥ …野焼き
 - 9/13 ⑦ …縄文料理
- 参加費
- 中学生以上 ￥1,500
 - 小学生 ￥1,000
 - 未就学 ￥500

お願い

- 火を扱うイベントですので、お子様のみの参加はご遠慮ください。
- 保護者の付き添い・見学はご遠慮ください。

新型コロナウイルスに関するイベントの対応について

- 1回目土器作りは3密を防ぐため2日に分けて開催します。ご希望の日をお選びください。
- 調理及び飲食が難しい場合は、3回目の内容を変更します。



どんな土器にしようかな？



こんな炎見たことない！

動画で縄文村を 楽しんじゃおう！



教育委員会企画のYouTube動画「おうちでわくわくチャレンジ！～君にも出来る～」に参加しました。資料館の展示資料を紹介しながら、縄文人の暮らしや資料の見どころを解説しています。

東松島市商工観光課 公式 YouTube チャンネル

ひがしまつしまじかん

縄文村の情報発信中！

ぜひフォローしてください！



イベントや見学の情報はこちら



公式 HP

縄文村の日常・情報をリアルタイムで発信



Facebook ▶



写真で楽しむ縄文村と宮戸島。

Instagram

縄文教室のお申込み・その他お問い合わせ

TEL 0225-88-3927 (水曜休館) Fax 0225-88-3928
mail jomon@city.higashimatsushima.miyagi.jp